環境のこと　みんなで考えよう

サステナブルってわくわく！ コープサステナブルアクション

コープサステナブルアクションがめざすこと

SDGsの目標を達成するためには、私たち一人ひとりのサステナブル（につながる）アクションが大事です。コープサステナブルアクションは、くらしの中にある「サステナブル」を知って、学んで、アクションできるきっかけづくりを行います。

全国の生協の組合員を始めとする消費者のみなさんが、一人でも多くサステナブルな行動を実践できるようにすることで、SDGsの実現に貢献したいと考えています。

見つけよう！

コープいきもの探しクエスト

8/31(日)まで

スマートフォンアプリを活用したゲームのような感覚で、出会ったいきものの画像を投稿することで、「いつ」「どこで」「どんないきものがいたか」というデータを蓄積します。蓄積されたデータは、株式会社バイオーム（アプリ提供）により生物多様性の保全活動に役立てられます。

くわしくは
こちらから♪

アプリをダウンロードして、初級編・上級編を選んでチャレンジしてください♪

予告!! 2024年度、全国の生協でも大変好評だったお笑いコンビ『マシンガンズ』滝沢さんによる学習会を、2025年度もWeb上で開催します！お笑い芸人とゴミ清掃員の2足のわらじで環境問題に取り組む滝沢さんのお話をぜひ、親子で聞いてみませんか？日程（夏休みの予定）・時間・内容など詳細については、よどがわ市民生協ホームページで案内します。

お問い合わせは　組織部　06-6319-5619（月～金　9～17時）

よどがわ市民生協内にてフードドライブを行いました！

2025年3月1日～31日までの1カ月間、フードドライブに取り組みました。今回は大阪読売テレビ（ytv）が主催するイベント『ytvサステナBloom』に参画する形で、総代・コープ委員・『つながる』コンサート参加の組合員・職員に呼びかけ、たくさんの物資が集まりました。
ご協力いただきありがとうございました。

フードドライブ実績

食品		日用品	
点　数	重　量	点　数	重　量
155点	28.7kg	276点	45.6kg

★食品、日用品合わせて累計で **431点、74.3kg** の物資が集まりました！

集まった物資は仕分け作業後、よどがわ市民生協が支援している食材提供団体（子ども食堂・フードバンク団体など）へ順次お渡ししています！

よどまるレポート

034 『福祉用具』って？

高齢者の日常生活を支えるために

高齢者が自立して生活し、日常生活をより快適に、安全に過ごすために、福祉用具は重要な役割を果たします。福祉用具の購入とレンタルは、利用者のニーズや状況に応じて選択することが重要です。専門家の意見を取り入れながら、信頼できる業者を選び、適切な用具を利用することで、安全で快適な生活をサポートすることができます。福祉用具の購入やレンタルに際しては、自治体の補助金やサービスも活用し、経済的な負担を軽減しましょう。

福祉用具を購入するには

介護認定者（要支援1～要介護5）以外の人でも、福祉用具を購入することができます。販売商品には、移動補助具（車椅子・歩行器・杖・靴など）、日常生活支援具（入浴用具・トイレ用具・食事用具など）、介護用具（介護ベッド・介護用マットレスなど）があります。介護保険は適用されないため、全額自己負担となりますが、一部介護保険適用の商品もあります。購入前に、ケアマネジャーや販売店（よどがわ市民生協など）と相談し、自分にあった福祉用具を選びます。

福祉用具レンタルを利用するには

介護認定者（要支援1～要介護5）がケアマネジャーに相談し、必要な福祉用具を選定してもらいます。福祉用具は移動を支援する用具（車椅子・歩行器・ステッキ）と日常生活をサポートする用具（介護ベッド・トイレ用具（ポータブルトイレ・手すりなど））・入浴用具（シャワーチェア・バスリフトなど）があります。使用するには、介護保険を使って指定の福祉用具貸与事業者（よどがわ市民生協など）と契約し、レンタル手続きを行います。利用者は自己負担（1割～3割）で福祉用具をレンタルすることができます。

大阪よどがわ市民生活協同組合（福祉情報センター：06-6317-1613 月～金 9～17時）

地域とともに

今回は…

よどがわ市民生協が食材提供をしている団体紹介

団体名：【とよなかESDネットワーク】

活動エリア 豊中市全域　HP http://ten.or.jp/

『とよなかESDネットワーク』について

『とよなかESDネットワーク』は、豊中市で活動されている特定非営利活動法人です。ESDとは、「持続可能な開発のための教育(Education for Sustainable Development)の頭文字をとった単語です。課題の解決のために必要な力、考え方、価値観を学びあいながら育み、意識を変えることにとどまらず、行動の変容を起こすこと。ESDをすすめる豊中市の事業の委託を受けて活動し、その一環として、豊中市南部で居場所の運営をしています。

4月1日（火）に居場所を訪問しました！

居場所にくるのは、小・中学生。さまざまな課題を抱え、支援ニーズの高い子どもたちが中心です。好きな時間に来て好きなように過ごし、食事も提供しています。よどがわ市民生協が提供している食材は、その材料やおやつに活用されています。

献立が書いてある黒板の隣には、居場所を卒業した子どもたちからのお礼のお花が飾られていました。

「よどがわ市民生協さんから物資をいただいて帰ってきたときは、子どもたちが「なになに？」とコンテナをのぞいてきて、好きなものがあれば喜んですぐに食べたりしています。子どもたちが『生きる』というだけでなく、食材を通じて『楽しさ』や『嬉しさ』を学ぶことができています。今後ともご支援いただけますと幸いです」　**スタッフのトーマスさん**

よどがわ市民生協では、今後も地域団体の活動を支えていきたいと考えています。

子ども食堂などを支援できる『よどまる応援基金』についてくわしくはこちらから♪

毎週受付中～♪

●よどまる応援基金のご案内●

子ども食堂などへ安定的に食材を提供するため募金にご協力ください。
※この募金は所得税の寄付金控除の対象となりません。

募金方法　注文書の4ケタ・6ケタ注文欄「001419」に個数（1＝100円）を記入。インターネット注文『eフレンズ』でも募金できます。